

6 フィブリノペプチド B β ₁₅₋₄₂ (FPB β ₁₅₋₄₂)

血液凝固の進行によって生じたトロンビンはフィブリノゲンの A α 鎖からフィブリノペプチド A を遊離する。ついで B β 鎖の Arg14 と Gly15 の結合部位を切断して、フィブリノペプチド B β ₁₋₁₄ (FPB β ₁₋₁₄) を放出してフィブリンを形成する。これにプラスミンが作用すると β 鎖の Arg42 と Ala43 の結合部位が切断されて FPB β ₁₅₋₄₂ が遊離する。したがって、この FPB β ₁₅₋₄₂ の増加は線溶亢進を示唆するものである。FPB β ₁₅₋₄₂ の血中濃度は微量であり、FPA の測定と同様に採血手技の不良が検査成績に影響する。RIA 法による FPB β ₁₅₋₄₂ の測定キットが開発されていたが、現在は市販されていない。